

東国大、1年で初の1部へ!

19試合で44得点、17失点。開幕8連勝(うち1試合は没収試合)、第3節終了時に首位に立って以降、一度もその座を明け渡すことなく昇格決定の歓喜を迎えた東国大。しかも前田秀樹監督を招聘し強化を始めてわずか6年目。選手たち自身も驚く快挙だが、それは埼玉県リーグ時代から培われてきた堅守と、優れた組織力による速攻からの決定力の高さがもたらした圧勝だった。前田監督も勝因について「全員がサボらない。チームワーク、組織力で勝った。いかに一つになって戦うことが大切かを学んだと思う」と話す。「守ってばかりだった」(DF阿部正紀・4年)というほど苦しかった東学大、神大との開幕2戦を1点差で制し、続く駒大に1-0で勝利すると勢いに乗り、前半戦9試合で21得点(うち3点は没収試合)を叩き出した。「無名の子どもたちがここまでやったのは本当にすごいこと」(前田監督)。しかし来季、関東リーグ昇格1年目での2部優勝という記録を引っ提げて1部での挑戦に臨めるか。埼玉県リーグ所属初の1部昇格を決めたチームは残り3試合、もう一つの記録に挑戦する。

【前田秀樹監督】今日負けたらズルズルいく可能性があった。総理大臣杯もいい経験になったし、(第13節)法政さんに負けて、初心に戻ってやり直した。1回も1位を譲らなかつたのはすごい。

【DF阿部正紀(4年)】嬉しい。最後1位で終わりたい。キャプテンとしてプレーで見せられればと思い頑張った。最初の2試合を勝てたのが大きかった。来年は1部の厳しい試合でも負けないでほしい。

【FW福島遼(3年)】今日で決めないとプレッシャーがかかってくると思った。県



リーグ時代にやってたことを貫き通して、上でもできるという自信はあった。皆が同じ意識でやれていた。優勝したい。

【MF加藤龍治(3年)】率直に嬉しいが、しっかり優勝して来年に向け頑張っていきたい。(FWへのコンバートは)出ればどこでもチームに貢献しようと思った。来年はまた相手が強くなるので楽しみ。

【MF上船利徳(3年)】最後に1部でできることになって最高。4年生が練習からまとめてくれていい雰囲気できたし、4年生のDFラインが身体を張ってくれた。次は4年生のために優勝を残したい。

【MF小玉敏之(3年)】今日決めるかと話していたので決められて心から嬉しい。昇格は狙ってはいなかった。守備がよかつたからだと思う。(来季は)今年みたいにジャイアントキリングをしていきたい。

駒大、3年ぶり1部復帰!

FW小牟田洋佑(3年)のゴールで先制し(写真提供:飯嶋玲子)、東農大に2-0で快勝した駒大。青学大が東国大に敗れ、さらに翌日の試合で関学大が引き分けて2位以上が確定した。そのためこの日の勝利の後には皆、淡々とした様子であった。優勝を狙っているという気持ちもあるだろう。実に22年ぶりに2部リーグを戦い、1年での1部復帰を目指した昨季は昇格圏まで勝点10差の4位に終わり、秋田浩一監督は「勝ちにこだわらなければ昨年のようなことになってしまおう」と言い続けた。苦しい試合が多かつたが、首位を走る東国大を追って第3節終了時以降、2位をキープした。至上命題であった1部復帰は決めた。残る目標は1位の座。最後に笑えるかどうか、逆転優勝を狙ってまだ戦いは続く。

来季2部参入チームはどこだ!? 第46回関東大学サッカー大会<11/24参入チーム決定戦>

<予選リーグ第1節終了時点>

Aブロック

順位	明海大	山院大	上武大	尚美大	勝点	得失
1	明海大	11/17	11/10	4○1	3	+3
2	山院大	尚美大G	1○0	11/10	3	+1
3	上武大	尚美大G	0●1	11/17	0	-1
4	尚美大	1●4	尚美大G	尚美大G	0	-3

Bブロック

順位	日大	産能大	東経大	埼玉大	勝点	得失
1	日大	11/10	11/17	2○0	3	+2
2	産能大	埼玉大G	2○1	11/17	3	+1
3	東経大	埼玉大G	1●2	11/10	0	-1
4	埼玉大	0●2	埼玉大G	埼玉大G	0	-2

参入決定戦予定<11月24日(日)鴻巣市立陸上競技場>

13:30 K.O. Aブロック1位 VS Bブロック2位
15:50 K.O. Bブロック1位 VS Aブロック2位

来季の関東2部リーグ参入2チームを決める第46回関東大学サッカー大会が埼玉県にて開催されている。2ブロックで予選リーグを行い、各上位2チームが11月24日の参入決定戦に進出することになる。各都県リーグの戦いは熾烈で、昨季関東2部から降格していった亜大は東京4位に終わった。関東大会出場校も、連続出場なのは尚美大(埼玉1位)と産能大(神奈川1位)の2チームのみだ。混戦の各都県リーグを勝ち抜き関東リーグ昇格を目指すのは、関東復帰を目指す尚美大、日大(東京2位)、上武大(北関東1位)、関東初昇格を狙う産能大、明海大(千葉1位)、山院大(東京1位)、東経大(東京4位)、埼玉大(埼玉2位)の8チーム。ここ数年、都県リーグからの昇格組は2チームのうち1チームが1年での降格を余儀なくされていたが、今季は東国大と東農大が大活躍した。来季の昇格チームも関東で活躍できるかどうか。なお、大会の詳細は関東大学サッカー連盟HPを参照。

JR 東日本カップ 2013 第 87 回関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM
Division2 2013-NO.20
編集:五味亜矢子 発行:関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ



東国大・駒大昇格決定! 焦点は優勝争いに

JR 東日本カップ 2013 第 87 回関東大学サッカーリーグ戦2部リーグは、昨年と同じく最速となる第19節に来季の1部昇格チームが決まった。しかも2つの昇格枠が一気に埋まってしまった。東国大は3位の青学大に5-0と大勝し、都県リーグから昇格1年目で1部昇格を決めるという史上最速の快挙。また、駒大は土曜日に東農大を2-0で破り、青学大が敗れ、日曜日に関学大が東学大と1-1で引き分けたことで3年ぶりの1部復帰を決めた。これで、上位の焦点は優勝争い。最終節の直接対決にまでもつれ込むのが注目だ。

一方の残留争いは、神大が東海大に1-0で勝利して降格回避まであと勝点1に迫り、法大は朝鮮大と0-0で引き分けた。平国大と拓大の“直接対決”は、平国大が2-1の劇的勝利で降格圏を突き放し

得点ランキング		アシストランキング	
13:	小牟田洋佑(駒大)	7:	佐伯拓磨(東国大)
12:	伊東純也(神大)		碓井鉄平(駒大)
11:	福島遼(東国大)	6:	恵龍太郎(青学大)
	関谷祐(青学大)	5:	加藤龍治(東国大)
10:	富樫敬真(関学大)		上船利徳()
8:	加藤龍治(東国大)		田中雄一(駒大)
	山本大貴(駒大)		今野順(東農大)
	堀越龍也(平国大)		長野祐太(神大)
	内野裕太(拓大)		松田有平(法大)

た。都県リーグへの降格を余儀なくされるのはあと1チーム。まだ、可能性は5チームにある。最後までつれるのか、それとも…。個人記録にも併せて注目したい。

JR 東日本カップ 2013 第 87 回関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第19節終了時)

順位	2部	東国大	駒大	関学大	青学大	東農大	東学大	神大	法大	平国大	朝鮮大	拓大	東海大	勝数	負数	分点	得点	失点	得失差	勝点
1	東国大		1○0 11/23	4○1 11/17	3○2 5○0	1●2 0△0	2○1 11/9	1○0 2△2	4○0 1●6	1△1 2○0	2○1 5○0	3○1 0△0	3○0(没収) 4○0	13	2	4	44	17	27	43
2	駒大	0●1 東国大G		2○0 1△1	4○1 11/9	3○2 2○0	4○2 11/16	4○1 1○0	2○0 4△4	3●4 1△1	1●2 2○0	2○0 2○1	4○1 1○0	13	3	3	43	21	22	42
3	関学大	1●4 BMW	0●2 1△1		11/23	0●3 1○0	4○0 1△1	0●2 2●3	2○1 1●3	3○0 4○1	4○0 11/10	2○1 2△2	3○0(没収) 2○1	9	6	4	33	25	8	31
4	青学大	2●3 0●5	1●4 青学大G	0△0 青学大G		1△1 1●2	1○0 0●1	2○1 2○1	4○1 5○3	0△0 4○0	1●2 11/16	1○0 2△2	2○1 2○0	9	6	4	31	27	4	31
5	東農大	2○1 0△0	2●3 0●2	3○0 0●1	1△1 2○1		11/23	11/17	0●3 11/9	1●3 3○1	1△1 2○1	2○0 3○0	3○0(没収) 3○0	9	7	3	28	23	5	30
6	東学大	1●2 たつこ	2●4 東海大G	0●4 1△1	0●1 1○0	2○1 東国大G		1●2 1○2	1△1 2△2	2△2 0△0	0△0 1△1	1△1 1△1	2○1 1△1	7	6	6	25	26	-1	27
7	神大	0●1 2△2	1●4 0●1	2○0 3○2	1○2 1○2	3○1 三ツ沢	2●3 2○1		1●2 11/9	1●2 11/23	3○1 4○1	2○5 2△2	1●2 1○0	8	9	2	33	33	0	26
8	法大	0●4 6○1	0●2 4△4	1●2 3○1	1●4 3●5	0●1 3○0	1○0 1△1	2○1 保土ヶ谷		1△1 0△0	11/23 0△0	1●2 11/16	4○2 11/23	6	8	5	31	32	-1	23
9	平国大	1△1 0●2	4○3 1△1	0○3 1●4	0△0 0●4	3○1 青学大G	1○3 2△2	1○3 法大G	1△1 0△0		0●2 2○1	11/16 11/16	2●3 2○0	5	8	6	23	36	-13	21
10	朝鮮大	1●2 0●5	2○1 0●2	0●4 たつこ	2○1 たつこ	1△1 1○3	0●2 0△0	1●2 1○4	1○0 0△0	0●1 2○0		0●1 11/23	4○1 1●2	5	11	3	17	32	-15	18
11	拓大	1●3 0△0	0●2 1●2	1●2 2△2	0●1 2△2	0●2 1●2	1●2 1△1	5○2 2△2	2○1 古河	2●3 1●2	1○0 青学大G		3○1 11/9	4	10	5	26	32	-6	17
12	東海大	0●3(没収) 0●4	1●4 0●1	0●3(没収) 1●2	1●2 0●2	0●3(没収) 0●3	1●2 1△1	1●2 0●1	2○1 法大G	2●4 東海大G	3○2 2○1	1●4 古河	1●3 1○0	3	15	1	16	46	-30	10

※白抜き順位は確定。東海大は後半戦終了時点で勝点-6となります

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

自分を超えて、進もう。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

RECRUIT

東京国際大学 vs 東京学芸大学

11月9日(土)
11:30K.O.
たつご

昇格を決めた首位の東国大。前節の青学大戦は、試合開始2分に電光石火の先制点を奪うと前半だけで4得点し、早々に試合を決めた。FW 福島遼(3年)は前半だけのハットトリックを含む4得点。青学大に攻めさせ、カウンターで逆襲する東国大らしい戦い方で5-0と完勝した。「もちろん優勝は狙いたい、若い選手を使いたい気持ちもある」(前田秀樹監督)。有効に選手交代ができる展開に持ち込めるか。
対する東学大は前節、関学大と1-1で引き分けた。前半は守備の時間が長く先制点を奪われたが、ボール回しのテンポが速くなった後半はペースを握って優勢に。クロスボールのこぼれ球から同点とした。「前半で修正でき、相手にブロックを敷かれても得点を決められた。後半のようなサッカーで上を目指したい」(西園聡史監督)。

リーグ最少失点の東国大の守備を崩せるか。
<出場停止>廣木雄磨(東学大)/3回警告:加藤龍治・阿部正紀・若井祥吾(東国大)<前回の対戦>東国大2-1東学大

東国大		東学大	
22. 新地	17. 小玉	2. 大里	18. 五十嵐
5. 川島	4. 加藤	11. 遠藤	3. 成田
14. 上船	21. 今野	15. 菅	12. 須賀
10. 若井	3. 阿部	10. 茶島	4. 脇本
11. 高橋	9. 福島	13. 中村	14. 佐藤
2. 伊東		25. 富澤	

東京農業大学 vs 平成国際大学

11月9日(土)
11:30K.O.
青学大G

関東復帰1年目で上位争いに加わった東農大だったが、前節は駒大に対して0-2と完敗。健闘空しく、1部昇格は夢に終わった。駒大戦は相手のサイド攻撃を止めることができず、前後半とも1点ずつを失った。ここ2試合は無得点。平国大には後半戦初戦で敗れたが、初戦の緊張から本来の力を出せなかった。「次は成長したところを見せたい」(秋吉保浩監督)。
その平国大は前節、残留争いの直接対決と言える11位の拓大に2-1で勝利し、降格圏を突き放した。先制点を奪い、1点を守りたかった89分にオウンゴールで同点に。しかしここで意気消沈せずロスタイムに勝ち越す勝負強さを見せた。「よくやってくれた。運動量では負けないようにやっているし、守備のハードワークが良くなっている」(西川誠太監督)残留決定に近づきたい。

<出場停止>堀越龍也(平国大)/3回警告:櫻岡徹也・佐々木翼・加藤聖哉(東農大)、鎌田秀平(平国大)
<前回の対戦>東農大1-3平国大

東農大		平国大	
27. 加藤	11. 井上	19. 堀越	13. 竹内
5. 櫻岡	6. 中垣内	26. 小松崎	6. 本田
6. 中垣内	14. 石川	9. 星子	8. 横瀬
21. 松尾	8. 佐々木	5. 鎌田	2. 須藤
10. 浜田	3. 田村	7. 玉田	16. 増田
18. 今野	23. 中西		

拓殖大学 vs 東海大学

11月9日(土)
11:30K.O.
古河

残留争いから抜け出せない拓大は前節、勝点1差の平国大と対戦したが、後半ロスタイムに勝ち越し点を許し1-2で敗戦。後半戦の初戦で勝って以来、5引き分けはあるが勝利がない。その初戦で勝った東海大との対戦でムードを一変させたいが、前節は頼みの攻撃陣が不発だった。「置かれた状況をしっかり認識して、勝つという気持ちを持つことが相手に負けていた」(玉井朗監督)。良い意味での緊張感を持って臨みたい。
対する東海大は前節、神大に0-1で敗れた。38分に退場者を出して数的不利に陥ったなか、GK 中西竜兵(4年)の奮闘が光り、19本のシュートを浴びながら1失点に抑えた。しかし、1人少なくなったの攻撃は単発に終わった。「もう少し臨機応変にできればよかった。今日は仕方がない」(後藤太郎監督)。今節は2人

の出場停止の対策が鍵だ。
<出場停止>木村竜也・溝口晃大(東海大)/3回警告:永吉惇起(東海大)<前回の対戦>拓大3-1東海大

拓大		東海大	
28. 小島	16. 長沢	27. 北原	36. 高橋
3. 丸山	35. 宗像	3. 小山	19. 永吉
9. 西岡	11. 内野	34. 吉田	16. 寺尾
1. 大坪	7. 川崎	26. 小野	41. 中西
4. 金子	36. 郡司	35. 岩壁	17. 西村
2. 三浦		8. 梶原	

駒澤大学 vs 青山学院大学

11月9日(土)
13:50K.O.
青学大G

1部昇格を決めた駒大。前節は東農大との対戦で、29分に先制し、後半に追加点を奪う理想的な展開。守備も危なげなく、2-0と快勝した。「サイド攻撃とセットプレーを徹底した」(秋田浩一監督)という通りサイド攻撃から2得点。この時点では昇格が決まらなかったため、喜びのシーンはなかったが、優勝に向け今節は4位の青学大が相手だけに、しっかり勝点を奪いたい。
その青学大は前節、東国大に0-5と完敗。今季の昇格レースを追い上げることはできなかった。東国大には精度の高いカウンター攻撃を受け、少ないDFでは止め切れず前半だけで4点を奪われ、宮崎純一監督も「今の実力の差と謙虚に受け止める」と話した。今節も昇格を決めた駒大が相手だが、相手のサッカーにはまらず自分たちの形に持ち込み、何としても連敗は避けたい。

<出場停止>なし/3回警告:田中雄一・伊藤慎人・碓井鉄平・キム デセン・大木暁(駒大)、京谷季樹・水島雅之・服部真矢・伊藤光輝(青学大)<前回の対戦>駒大4-1青学大

駒大		青学大	
3. 田中	11. 小牧	7. 荒木	3. 早田
5. 伊藤	6. 若山	15. 水島	14. 伊藤
9. 小牟田	19. 須貝	18. 関谷	6. 高山
1. 大石	7. 碓井	10. 木澤	12. 高橋
4. 平尾	17. 平野	5. 京谷	
13. 大木		16. 恵	20. 服部

神奈川大学 vs 法政大学

11月9日(土)
11:30K.O.
保土ヶ谷

7位の神大は前節、東海大に1-0で勝利し、上位グループまで勝点1差に迫った。ただ、東海大戦は相手選手が退場し数的有利となったが、シュート19本を放ちながら73分によやく1点を奪ったにとどまり、決定力には課題を残した。それでも、高峯弘樹監督は「我慢強くこらえて勝点3を取れた。残りすべて勝点3を積み、行けるところまで行きたい」と話した。残り3試合、昨季1部チームの意地を見せたい。
一方の法大は前節、残留を争う朝鮮大と対戦してスコアレスドローに終わった。相手にはシュート3本しか許さなかったが、負けられないという緊張感を保つ朝鮮大のDFを崩せず無得点。「前半で決めるところを決めないとこういうゲームになる。緊張感のある中でいかに自分たちの思い通りにできるかが大事」(大石和孝監督)。

降格圏まで勝点5差だけに、負けられない試合だ。
<出場停止>杉山祐亮(神大)/3回警告:秋山真太郎・武田将平(神大)、星雄次・森保翔平(法大)<前回の対戦>神大1-2法大

神大		法大	
2. 柿崎	11. 星	17. 森保	24. 白石
4. 向山	10. 伊東	2. 宗近	5. 岩淵
16. 前田	21. 阿部	1. 四宮	
28. 武田	26. 内野	6. 星	
17. 盛	22. 伏木	13. 木村	
7. 長野		16. 松田	30. 永戸

関東学院大学 vs 朝鮮大学校

11月10日(日)
11:30K.O.
たつご

3位に浮上した関学大だが、前節、東学大と1-1で引き分けたことで、今季の2位以上の可能性は潰れてしまった。東学大戦は、11分に先制点を奪ったが、後半は逆に主導権を奪われた。1失点に抑えたものの勝ち越し点は奪えず。「防げなくもない失点でもったいなかった。これで2位以内が消滅してしまったので、3位を目指して内容にもこだわりたい」(石村大監督)。残留を争う相手からしっかり勝点3を奪えるか。
その朝鮮大は前節、法大と対戦してスコアレスドロー、勝点1をもぎ取った。序盤には攻め込まれながら法大の攻撃に耐え、後半は何度かチャンスもあったが無得点に終わった。降格圏の11位と勝点1差という厳しい立場だが、金載東監督は「前半は少し引いてしまったが、後半はある程度相手ゴールに迫れた。次につながる

と思う」と話す。降格圏を突き放せるかどうか。
<出場停止>なし/3回警告:久保海都(関学大)、康貴成(朝鮮大)<前回の対戦>関学大4-0朝鮮大

関学大		朝鮮大	
2. 吉田	24. 普光院	22. 慎鏞紀	7. 尹昌洙
4. 久保	10. 橋村	9. 高尚人	3. 李教俊
3. 土館	7. 太田	21. 康貴成	28. 金成大
21. 守山	27. 原島	6. 任良太	
9. 富樫	13. 吉田	14. 朴利基	4. 許亮
	8. 山本	17. 高志煌	2. 李永照